

キッズ パーク レター

2020. 5. 22. No.232



Welcome to Atelier Kids Park!! つくろう “ゲンキ” Energy!

「こどものことば、学び」

6月を目前に、感染症を警戒しながらも、少しずつ日常を取りもどそうとする歩みの広がりを感じます。大人にとっても目まぐるしい変化の中、いま、子どもたちと一緒になにができるのか、私たちは見直す時をむかえているのかもしれませんが。

1. “子どもたちは 百通りの言葉を話す”

これまで、この言葉を耳にしたことがある方もいらっしゃるのではないのでしょうか。これは、声を発する言葉だけではなく、表情、動作、なにかをつくる、描くなど、生まれながらにして、“豊かな可能性”や“表現力”をもっている、そのことをあらわしているそうです。

子どもたちが、百通りの表現力をもって生きているなら、その力を最大限にのばしてあげるには、なにが大切なのでしょう。

2. “言葉は 知っている でも”

お友達に、良くないことをしてしまったら、「ごめんね」と言うことは知っています。相手のお友達も、「いいよ」とお返事をするのも知っています。それでも中には、「なんで謝らないといけなのか！」と慥然とした顔で言う子どももいれば、しぶしぶ「いいよ」と言う子どももいます。その状態で、「これで、また仲良しだね！」と思えないのは、明らかです。

ただ「ごめんね」や「いいよ」と伝えられることが、成長なのでしょう。

3. “物語 そして、学力へ”

言葉を知っている様で知らない子どもたちへ、使い方や気持ちを表現する深み、その楽しさを、大人はどうやって伝えていくことができるのでしょうか。

これは、“言葉”をもって、くりかえし刺激を与え続けて伝えていくほかありません。

「むかしむかし、あるところにね・・・」「おかあさんが、こどものころにはね・・・」

「絵本」の読み聞かせや昔話やおとぎ話、思い出話をお話するのもそうです。

子どもたちが役になりきる「ごっこ遊び」もそうです。

心が動くようなストーリーには、先人たちの知恵や経験がギュッとつまっています。夢中になつて物語に入りこむことで、「いい」、「わるい」、「すごい」などの、単純な言葉では言い表せない文化的な世界と出会う経験をすることができます。

日常では、物語に描かれるようなドラマチックな冒険は、そう頻繁におきないかもしれませんが、あえて“あそび”として想像力を働かせることで、非日常ともいえる“刺激”と“体験”をすることができます。

そのくりかえしで、「聞く力」、「読む力」、「表現する力」の土台が養われていきます。

それこそが、成長した先で求められる“論理的思考力”や“問題解決能力”などの、“学力”へと形を変え、“生きる力”へつながっていきます。

子どもたちへ、“言葉”を通して、自分らしく生きていくための“自信”をプレゼントすることができます。

<絵本のコーナー>

“一生のうちに「大好き」といえる絵本と出会うことができる子どもは幸せです。”

と、ある児童書の専門家の講演を聞いた事があります。子どもと向き合い、一冊の絵本を読み終えた喜びや満足感を楽しんで頂ける様、毎回このコーナーで絵本を紹介させていただきます。



おうち時間を たのしもう！

- ★「ぐりとぐら」、「だるまちゃん」シリーズなど、子ども時代に親しんだなつかしい絵本。
- ★福音館書店のウェブサイトでは、絵本にちなんだ「ぬりえ」や「お料理レシピ」など、親子でたのしいコンテンツが公開されています！
- ★ぜひ、お子様とご一緒に、絵本の世界であそんでみませんか？

いいものみつけたっ！～おすすめの絵本編～

『たいせつなこと』 出版社／株式会社フレーベル館

マーガレット・ワイズ・ブラウン作 レナード・ワイズガード絵

定価 本体 1,200円＋税

スプーンは たべるときに つかうもの

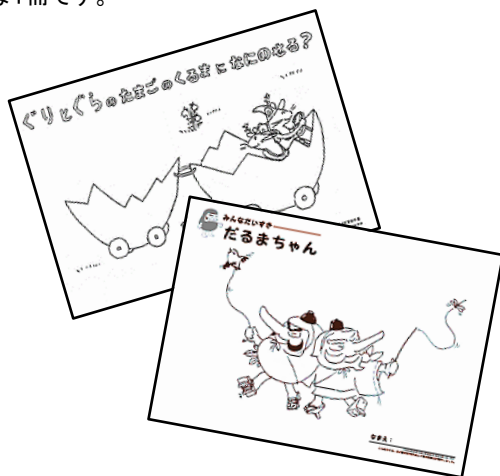
くつは あしを つつむもの

それぞれに、たいせつな“いみ”があります。

“あなた”にとって、たいせつなことは？

目のまえのしあわせに、こころがつつまれる、

すてきな1冊です。



「福音館書店」のウェブサイトは、こちら

<https://www.fukuinkan.co.jp/>

<お問い合わせ等> 「遊びを通して 頭と心と体を たくましく育てる」

produced by 総研メソッドの 幼稚園型認定子ども園 天使幼稚園

〒720-0831 福山市草戸町2丁目21-12 電話 084-923-1949

